



質・量ともに、
全国トップレベルの
かごしま茶

食の太鼓判

安心・安全に
こだわって生産しました！
かごしまの農林水産物
認証制度(K-GAP)

Kagoshima Good Agricultural Practice

第一回

緑茶



温暖な気候に恵まれた鹿児島県では、お茶の栽培が盛んです。平成23年度の茶栽培面積は8670ha、荒茶の生産量は23800tとなっており、静岡県に次いで全国第二位を誇ります。

お茶は、昼夜の寒暖の差が大きいほど、甘く香り高い高品質のものができるといわれています。鹿児島県にはこの条件に合った土地が多く、霧島市や南九州市、志布志市など県内各地にお茶どころがあり、早生から晩生までさまざまな品種が栽培されていま

す。そのため、摘み採り期間も長く、また多様なニーズにあっただお茶を生産することができ

ます。
4月上旬から始まる新茶は、日本一早い新茶として有名です。特に、種子島では「走り新茶」として3月下旬から出荷が始まります。

かごしま茶は、香りの良さとかくのある味が特徴で、全国茶品評会で農林水産大臣賞や産地賞を毎年受賞するなど、その品質は全国でもトップレベルにあります。



かごしまの農林水産物認証制度(K-GAP)とは

K-GAPは、安心・安全を考えて県が策定した基準に沿って生産者自らが行う記録・点検・評価・改善の農業生産工程管理(GAP)の取り組みを外部機関が審査・認証する鹿児島県独自の制度です。



